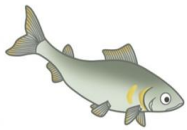




日和山

新潟市立日和山小学校
学校便り 第96号
令和5年12月22日



チーム

校長 宇ノ井 修二

9月29日(金)持久走記録会当日の朝の教務室。記録会を控えて、早口での打合せや、足早での準備などで、バタバタしています。そんな時、当校事務職員がボソツと言いました。

「なんだろう。なんか緊張しますね。」



12月11日(月)に「あいさつ運動」をスタートしました。今回は「冬の交通事故防止運動」と開始日が重なっており、世の中全てが少しいつもと違った雰囲気になっていました。

いつものように、校内のことは信頼できる職員に任せ、子どもたちの登校時の安全を見守ってくださっている各地域の皆さんにお礼を言いに行くため、自転車で学校を出発しました。オレンジのジャンパーを着ると、時期的にちょうどよい保温効果です。寒くなってきたので、交通安全指導に立ってくださっている皆さんも、下にたくさん着込んだ上で、オレンジや緑のジャンパーを着て街頭指導をしてくださっていることが分かります。寒い中でも、子どもたちの登校を、見守ってくださっているのです。

全てを巡回することができなかつた点が心残りではありましたが、あいさつ運動の初日でもあったので、早々に切り上げて学校に戻りました。初日の担当は6年生でした。取組内容は学年で決めることになっていました。校門を入ったところから、広めに間隔をとった6年生が並んで、全校児童を出迎えています。2～4階の渡り廊下にも6年生が並んでいます。挨拶りレーで名前を書き込む「あいさつたすき」も素敵なアイデアです。校門から児童玄関まで、そして教室に向かう渡り廊下が、最高の雰囲気に仕上がっていたのです。



職員を含めて「チーム6学年」の勢いを感じました。

あいさつ運動2日目の12日(火)は、5年生の担当です。7時50分、5学年担任の「さあ、頑張ろう!」「頑張ろうね!」という声が教務室前に響きました。早めに登校してきた5年生を励まし、勢いを与えています。私自身も「よし!頑張ろっか!」と勢いを付けて、玄関ホールから教務室前廊下に入る場所に向かいました。やがて、私の隣に数人の5年生が並んで立ちました。登校してくる子どもたちを、「挨拶の門」が出迎えるように、両側から私と4人の5年生とで挨拶をし始めました。いつも以上に、教務室脇が爽やかな挨拶の雰囲気で包まれていきます。思わず、「この雰囲気はいい。最高だ!」と言葉にってしまったほどでした。

「皆さんは、なぜここで挨拶しているの?担当はこの4人だけ?」と質問。「僕たちは実行委員だからです。」さらに別の子が「今、5年生が全部の学年の入り口に行って、挨拶しています。」と教えてくれました。そこで「ちょっと上の(学年の入り口の)様子も見てみたいんだけど、ここでもいい?」と聞くと「はい!」爽やかな挨拶を続けながら、気持ちのよい返事をしてくれました。さすが実行委員です。各学年の入り口には、5年生の担当が入り込み、元気な朝の挨拶運動を展開していました。

職員を含めて「チーム5学年」のまとまりを感じました。



「チーム〇学年」のがっちりとしたスクラムは、「チーム日和山小」のがっちりとしたスクラムなくして成立しません。だからこそうれしいのです。当校事務職員がボソツと言ったひと言が。学級を担任しているわけではない、学年に所属しているわけでもない、記録会の運営に直接かかわっているわけでもない事務職員です。「なんだろう。なんか緊張しますね。」です。まぎれもなく「『チーム日和山小』のメンバーとしての自覚」から出たひと言なのです。

保護者の皆さんも、地域の皆さんも、「チーム日和山小」の、大切な大切なメンバーです。

届け！私たちの日和山！！

4年生 山崎 優

9月。令和5年度 日和山小学校にじいろ音楽祭実行委員会が立ち上がり、にじいろ音楽祭に向けての活動が始まりました。今年度のスローガンは、「しも町 日和山の魅力を届けよう！みんなで一つ 心に響くハーモニー」です。

4年生が入学したのは2020年。新型コロナウイルス感染症対策で、一斉休校や、分散登校、かわる事が制限された学校生活がスタートした年です。歌や演奏をすることが難しい生活がスタートした年です。あれから3年半。4年生は曲を奏でる喜び、リズムを重ねるおもしろさ、音を響かせる楽しさを味わおうとしていました。このタイミングでのにじいろ音楽祭です。自分たちの入学式でも歌えなかった「校歌」を発表曲にしました。

4年間学校で過ごしてきたからこそ分かる歌詞の意味。「友達にありがとう」「あいさついっぱい」「夢に向かって歩む」など、子どもたちが学校生活で感じる日和山小学校の魅力がたくさん書かれていました。この日和山小学校の魅力を伝えようと練習に励んできました。

本番では、「今までで、一番よく響いていましたね。」と伴奏の梅田先生からお言葉をいただきました。仲間と一緒に奏でる喜び、おもしろさ、楽しさを味わい、ビッグスマイルでりゅーとぴあから帰てくることができました。歌や演奏の技術だけではなく、心の学びも多い、充実した活動でした。

楽しかったね！ クローバーランド✿

児童会 近藤 真弓

子どもたちがとても楽しみにしている行事の一つである、クローバーランドを、12月1日に行いました。それぞれのクラスのお店では、様々な工夫が凝らされていました。どのお店もそれぞれの学級で楽しいお店にするために何度も話し合っ工夫している様子が伝わってきました。2年生は、同じクローバー班の1年生と一緒にお店を回りました。全部のお店を回れるように、迷子を出さないように、小さなお兄さん・お姉さんとなって活躍しました。3～6年生は、自分たちのお店で楽しんでもらうことはもちろんですが、お客として、他のクラスのお店を思いっきり楽しんで盛り上げることもクローバーランドでは大切な学びです。どのクラスのお店からも、「いらっしゃいませ。」「こちらどうぞ。」「がんばってください。」「おめでとうございます。」など、温かな声がたくさん聞こえました。ほかのクラスのお店で遊んでいる人たちもとても楽しそうで、みんな喜んでお店から出てくる姿が見られました。クローバーランドで更に高まった団結力を、今後の学校生活に生かしていきます。

